

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-05-01	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	地域図書館施設の管理	部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課	課長名	成瀬		
		担当者名	増田	内線	436		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-01-01	管理費					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 25 年度	根拠	建築基準法等				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進				
目的	図書館施設の適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、安全面での利用者サービスの充実を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	区立図書館（4館）とサービスステーション（2カ所）の保守及び維持管理業務 ・南千住図書館：南千住6-63-1／敷地面積2,723.96㎡／延床面積2,686.10㎡（建物合計5,270.69㎡） ・尾久図書館：西尾久3-12-12／敷地面積1,328.94㎡／延床面積1,201.82㎡ ・町屋図書館：町屋5-11-18／都営住宅敷地内／延床面積1,045.44㎡ ・日暮里図書館：東日暮里6-38-4／敷地面積893.92㎡／延床面積1,369.66㎡ ・汐入図書サービスステーション：南千住8-12-5-109・113・114／延床面積124.07㎡ ・冠新道図書サービスステーション：西日暮里6-25-14／延床面積181.44㎡						
経過	・昭和37年 3月 荒川図書館開館、昭和46年 9月尾久図書館開館、昭和48年 4月旧南千住図書館開館、昭和51年10月 町屋図書館開館、昭和54年 6月日暮里図書館開館 ・平成 4年 7月 全館で日曜開館・月曜休館実施 ・平成10年 5月 現南千住図書館開館。南千住図書館で祝日開館実施 ・平成17年 4月 全館で祝日開館実施。南千住図書館の土曜開館時間を19時半まで延長 ・平成19年 9月 汐入サービスステーションを開設（平成22年12月児童拡張、平成25年10月配架拡充） ・平成21年11月 冠新道サービスステーションを開設 ・平成25年 4月 地域館に夜間警備員を配置、翌3月 地域館に防犯カメラを設置 ・平成28年12月 荒川図書館廃止 ・平成29年10月～平成30年4月 日暮里図書館大規模改修 ・令和 2年度中に宮前公園内に新たな尾久図書館を開館予定						
必要性	図書館全体に係る保守・維持管理業務であり、図書館サービスを提供するうえで不可欠である。						
実施方法	（3委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 専門知識の有する事業者保守点検、維持管理業務等を委託し実施している。						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	①						
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
継続	継続	地域図書館の維持管理及び運営にかかる事業であり、効率的に管理するため継続して実施する。					

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		64,042	80,333	85,525	71,709	73,482	76,519	96,313
決算額(2年度は見込み)		62,892	75,052	73,981	63,644	69,010	69,142	96,313
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
光熱水費(千円)		31,108	29,594	25,837	21,495	23,068	19,742	30,583
保守管理委託費(千円)		27,806	25,026	29,853	25,197	27,850	32,575	48,036
予算・決算の内訳		平成30年度(決算)		令和元年度(決算)		令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	電気・ガス・水道等	23,068	需用費	電気・ガス・水道等	19,742	需用費	電気・ガス・水道等	30,583
役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	4,091	役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	3,235	役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	3,827
委託料	各館設備保守業務委託	27,850	委託料	各館設備保守業務委託	32,574	委託料	各館設備保守業務委託	48,036
使用料等	SS賃借料	13,386	使用料等	SS賃借料等	13,468	使用料等	SS賃借料等	13,686

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		30年度	元年度	差額	行政収入	勘定科目		30年度	元年度	差額
	給与関係費		10,190	19,204	9,014		地方税		0	0	0
物件費		69,010	69,142	132	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		0	0	0	使用料及び手数料		149	181	32		
減価償却費		50,500	50,500	0	その他		1,520	1,523	3		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		1,669	1,704	35		
賞与・退職給与引当金繰入額		513	10,778	10,265	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲128,544	▲147,920	▲19,376		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		▲1,414	▲1,251	163		
行政費用合計(b)		130,213	149,624	19,411	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲129,958	▲149,171	▲19,213		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲129,958	▲149,171	▲19,213		

備考 行政費用のうち、物件費の主なものは施設保守に係る業務委託料に32,574千円や光熱水費19,742千円となっている。行政収入のうち、その他の主なものは、自動販売機設置に伴う光熱水費受入247千円、汐入SS家賃社会福祉協議会負担分1,269千円となっている。

問題点・課題  
・快適な環境づくりを図るとともに適正な維持管理を行う。  
・新型コロナウイルス感染予防策を講じ、利用者が安心して利用できる施設運営および安全に利用できる施設管理を行う。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	定期的に、機械設備等の保守点検を実施して利用者の安全・安心で快適な施設運営を実施する。	設備の保守点検は専門業者が行い、安全な施設管理を実施した。	機械設備等の保守点検の結果に応じて適切な対応を行い施設の維持管理を行っていく。
②		新型コロナウイルス感染予防策として、定期的に換気や清掃、消毒を行い、カウンターには飛沫防止フィルムを設置する等した。	利用者が安心して利用できるよう、感染予防策を講じた施設運営を行っていく。
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
	全区で実施
議会(要旨)質問状	平成29年度予特 町屋図書館の今後の建替え予定について 日暮里図書館の大規模改修の内容について 平成29年度9月 今後の図書館改修について

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-05-02		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	特色ある地域図書館の推進		部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課	課長名	成瀬		
			担当者名	寺内	内線	436		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-02-02	図書館資料費						
	01-02-03	読書活動推進事業費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業	<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	29年度	根拠	荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方、荒川区立図書館資料収集要綱				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		令和3年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進					
目的	館ごとに地域の特色を踏まえ、読書の楽しみを味わうことと併せ、生涯学習の支援と生活に役立つ図書館を目指すとともに、地域交流の輪をさらに広げる拠点となることを目的とする。							
対象者等	図書館利用者							
内容	<p>【特色ある蔵書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>荒川区立図書館資料収集要綱及び荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方に基づき、生涯にわたる読書活動を推進するため、地域特性や多様化・高度化するニーズを的確に把握し、積極的に資料を収集し情報を提供する。</li> </ul> <p>【新たな事業展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発信とアウトリーチ：出張おはなし会等の開催、街なか図書館の整備等</li> <li>心地よい居場所づくり：多様な閲覧席の整備、子どもから高齢者までの居場所づくり等</li> <li>区民参加の促進：図書館ボランティアの育成、専門家によるイベントやワークショップの実施等</li> </ul> <p>【各館の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南千住：奥の細道コーナー、ふるさと文化館との連携事業</li> <li>尾久：落語をテーマとした事業の実施</li> <li>町屋：ぬりえ美術館や保育園・中学校との連携事業</li> <li>日暮里：日暮里繊維街との連携事業</li> </ul>							
経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年4月 地域図書館課設置</li> <li>平成30年5月 「読書を愛するまち・あらかわ」宣言を発表</li> <li>平成30年6月 街なか図書館設置開始</li> <li>平成30年10月 「読書を愛するまち・あらかわ」の取組がプラチナ大賞・次世代育成賞を受賞</li> <li>令和元年7月 日暮里駅東口に図書返却ポスト設置</li> </ul>							
必要性	読書を愛するまち・あらかわをさらに展開していくために必要な事業である。							
実施方法	( 1直営 ) ( 直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input checked="" type="radio"/> 非常勤 <input checked="" type="radio"/> 臨時職員 )							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	入館者数	869,287	935,673	911,057	752,000	1,013,200	地域図書館の入館者数の総計（ゆいの森あらかわ除く）
	②	おはなし会・おたのしみ会の参加者数	3,234	4,094	3,580	2,500	6,000	地域図書館のおはなし会参加者数の総計（ゆいの森あらかわ除く）
③	個人登録者数	60,073	65,365	49,766	52,500	91,000	地域図書館の個人登録者数の総計（ゆいの森あらかわ除く）	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
重点的に推進		重点的に推進		地域に根ざした、地域の特性を生かした地域図書館としての取組みを発展させ、魅力ある図書館となるため、重点的に推進する。				

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		75,147	77,158	75,067	72,340	60,308	62,406	60,432
決算額(2年度は見込み)		74,692	75,849	71,366	68,794	59,149	60,297	60,432
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
図書雑誌蔵書冊数(冊)*地域館分		766,826	722,573	542,975	524,779	535,327	530,941	542,000
個人総貸出点数(点)*地域館分		1,882,661	1,904,021	1,465,239	1,290,495	1,323,888	1,258,786	1,006,000
事業の実施回数(回)*地域館分		—	—	—	307	325	323	350
入館者数(人)*地域館分		1,288,224	1,271,337	1,196,773	869,287	935,673	911,057	752,000
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	資料、消耗品等	57,223	需用費	資料、消耗品等	58,465	需用費	資料、消耗品等	59,643
委託料	街なか図書館看板等	428	委託料	16ミリフィルムデジタル化等	1,276	委託料	街なか図書館看板等	348
備品購入費	街なか図書館ブックワゴン	1,260	備品購入費	街なか図書館ブックワゴン等	351	備品購入費	街なか図書館書架等	229
報償費	謝礼	238	報償費	謝礼	207	報償費	謝礼	212

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額		30年度	元年度	差額	
行政費用	給与関係費	35,910	37,728	1,818	地方税	0	0	0
	物件費	58,911	60,090	1,179	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	238	207	▲31	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,807	21,174	19,367	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲96,866	▲119,199	▲22,333
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	96,866	119,199	22,333	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲96,866	▲119,199	▲22,333
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲96,866	▲119,199	▲22,333	

備考 行政費用において、物件費の主なものは図書館資料で58,279千円である。補助費の内訳はイベント実施による講師謝礼で207千円である。

問題点・課題  
 ・地域に根ざした特色ある蔵書づくりに基づき、区民の知的好奇心を満たす新鮮で魅力ある書架構成を行う。  
 ・利用者からの様々なニーズに対応するために、職員のスキルアップを図り、地域図書館の魅力をさらに発揮できるように事業展開、情報発信に取り組んでいく。  
 ・新型コロナウイルス感染予防策を講じ、利用者が安心して参加できるイベントを実施していく。

## 問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	継続的に研修を実施するとともに都立図書館等の研修にも積極的に参加し、図書館職員のスキルアップを図る。	都立図書館等の研修に参加し、図書館員としての専門性を高め、おはなし会等での読み聞かせに生かした。	研修に参加し、職員の企画力、広報力を向上させ利用者のニーズに沿った事業を展開する。
②	地域の特色を踏まえた資料収集や独自の取組みを引き続き強化していく。	南千住図書館では併設のふるさと文化館と連携し、奥の細道コーナーのパネルの更新や俳句関連図書を充実させた。	地域図書館の魅力を高める取組みを引き続き実施し地域に根ざし、かつ地域の区民に愛される図書館づくりをしていく。
③	区の施設だけでなく民間施設も含めて街なか図書館の更なる整備を目指し、引き続き読書環境の整備を図っていく。	区施設に加え、病院や飲食店等の民間施設にも整備を進めた。また日暮里駅東口に図書返却ポストの設置を行った。	引き続き、まちなか図書館を民間施設へ拡充し、本が身近にあるまちづくりを進めていく。

他区の実況	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）	
	全館直営で実施しているのは荒川区のみ	

況（要旨）	平成29年度11月 読書のまち宣言について
議	平成30年度11月 読書を愛するまちの取り組みの推進について
会	平成30年度決特 図書館ホームページの充実について
質	平成30年度予特 駅前図書返却ポストの進捗状況について
問	平成30年度予特 読書を愛するまち・あらかわの条例化について
状	

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-05-03		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事																								
事務事業名	図書館施設の改修		部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課	課長名	成瀬																									
			担当者名	増田	内線																										
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-03-01	営繕費（一般分）																													
	01-03-02	営繕費（施設改修分）																													
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業																										
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和	<input type="radio"/> 平成	<input type="radio"/> 令和	37年度	根拠	荒川区公共建築物中長期改修実施計画																									
終期設定	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等	荒川区公共施設等総合管理計画																										
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内		<input type="radio"/> 都基準内	<input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画	<input checked="" type="radio"/> 非計画																								
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市																												
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成																												
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進																												
目的	図書館施設の適切な修繕、改修を行い、施設の長寿命化を図ると共に、安全面での利用者サービスの向上を図る。																														
対象者等	図書館利用者																														
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備更新や大規模改修については利用者の利便性及び老朽化の程度、緊急性等を勘案し、施設の機能・性能の保全に努めながら計画的に実施する。</li> <li>・ 小破修繕については不具合の状況に合わせ、必要な修繕を各館ごとに実施している。</li> </ul>																														
経過	<p>主な図書館施設の施設改修工事</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">【平成29年度】</td> <td style="width: 40%;">中央監視装置交換</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">4,860,000円</td> </tr> <tr> <td>・ 南千住図書館</td> <td>空調設備・壁・床・天井等改修</td> <td style="text-align: right;">197,638,887円</td> </tr> <tr> <td>・ 日暮里図書館</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【平成30年度】</td> <td>受変電設備改修工事</td> <td style="text-align: right;">5,459,400円</td> </tr> <tr> <td>・ 南千住図書館</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【令和元年度】</td> <td>非常用照明改修工事</td> <td style="text-align: right;">2,278,320円</td> </tr> <tr> <td>・ 南千住図書館</td> <td>照明器具入替修繕</td> <td style="text-align: right;">4,063,532円</td> </tr> <tr> <td>・ 町屋図書館</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							【平成29年度】	中央監視装置交換	4,860,000円	・ 南千住図書館	空調設備・壁・床・天井等改修	197,638,887円	・ 日暮里図書館			【平成30年度】	受変電設備改修工事	5,459,400円	・ 南千住図書館			【令和元年度】	非常用照明改修工事	2,278,320円	・ 南千住図書館	照明器具入替修繕	4,063,532円	・ 町屋図書館		
【平成29年度】	中央監視装置交換	4,860,000円																													
・ 南千住図書館	空調設備・壁・床・天井等改修	197,638,887円																													
・ 日暮里図書館																															
【平成30年度】	受変電設備改修工事	5,459,400円																													
・ 南千住図書館																															
【令和元年度】	非常用照明改修工事	2,278,320円																													
・ 南千住図書館	照明器具入替修繕	4,063,532円																													
・ 町屋図書館																															
必要性	建物の老朽化が進む中で、施設を維持するためには不可欠な経費である。																														
実施方法	（3委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 工事は営繕課に執行委任するが、小規模修繕については所管課で対応する。																														
指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明																								
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)																									
	①																														
	②																														
③																															
事務事業の分類		分類についての説明・意見等																													
2年度	3年度																														
推進	推進	区の長期改修計画及び荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方を踏まえ魅力ある図書館を実現するため推進とする。																													

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		22,425	4,320	106,276	210,657	23,061	15,348	54,182
決算額 (2年度は見込み)		20,748	4,320	71,040	209,632	8,801	9,825	54,182
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名 (2年度は見込み)								
全館改修工事件数(件)		1	1	3	2	1	2	2
地域図書館修繕件数(件)		62	62	61	27	34	35	35

予算・決算の内訳								
平成30年度 (決算)			令和元年度 (決算)			令和2年度 (予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
工事請負費	受変電設備改修工事	5,459	家屋等修繕費	照明器具入替修繕(町屋)	4,064	委託料	消防・防火改修設計委託(南千住)	5,517
			工事請負費	非常用照明改修(南千住)	2,278	家屋等修繕費	リモートユニット更新(南千住)	42,020

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額		30年度	元年度	差額	
行政費用	給与関係費	11,224	10,562	▲ 662	地方税	0	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	8,801	7,547	▲ 1,254	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	565	5,928	5,363	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 20,590	▲ 24,037	▲ 3,447
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	20,590	24,037	3,447	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 20,590	▲ 24,037	▲ 3,447
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 20,590	▲ 24,037	▲ 3,447	

備考 行政費用のうち維持補修費の主な内訳として町屋図書館におけるLED照明への入替修繕費用4,064千円、各図書館における家屋修繕費用3,483千円となっている。

問題点・課題  
 ・築年数の経過に伴い施設設備の老朽化が進んでいるが、施設の長寿命化を図るため、適切に維持し安全性を確保するための効果的な補修や改修が不可欠になっている。  
 ・南千住図書館は築22年経過しているため、2年度は空調機器の自動制御機器(リモートユニット更新)の交換を予定しており、引き続き現状を把握し改修可能な部分から改修を実施する必要がある。  
 ・町屋図書館は築43年経過しているが、東京都から行政財産の使用許可を受けている施設であり、東京都の都営住宅の建替えの動向を注視する必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	定期的に機器および施設点検を実施して適切な修繕や補修を計画的に行い、利用者の安全・安心を確保する。	専門業者により定期点検・法定点検を実施し適切に維持管理を行った。	施設の管理に必要な点検を実施し、点検結果報告書等に基づき計画的に実施する。
②	大規模改修を含めた施設の管理・運営について、併設施設である、ふるさと文化館と共同で検討を進める。	南千住図書館・ふるさと文化館の施設及び設備の改修を適宜行った。	南千住図書館・ふるさと文化館において、老朽化が著しく進んだ機器の改修及び更新の検討を行う。
③	町屋図書館の照明改修工事を実施し、全面LED化することで、快適な利用環境を整える。	町屋図書館の照明改修工事を実施。全面LED化により快適な利用環境を整備した。	

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
	全区で実施

況議(要質問) 平成29年度予特 町屋図書館の今後の建替え予定について  
 平成29年度9月 日暮里図書館の大規模改修の内容について  
 今後の図書館改修について

# 事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-05-04	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	新尾久図書館の整備	部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課	課長名	成瀬		
		担当者名	三村	内線	436		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-01-01	新尾久図書館整備事業費					
事務事業の種類	● 新規事業（● 2年度 ○ 元年度）		● 建設事業		○ それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 ● 平成 ○ 令和	28 年度	根拠				
終期設定	● 有 ○ 無	令和2 年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 ● 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進				
目的	現在の尾久図書館は開設から40年以上経過し、老朽化が著しいため、宮前公園内に新たに整備する。整備に当たっては、地域の図書館としての魅力がさらに高まるよう、従来のハード面、ソフト面のサービスに加え今後の図書館に必要な機能を兼ね備えた施設になるよう検討し、地域の区民や、宮前公園の利用者に親しまれ、地域のシンボリックな施設になるようにする。						
対象者等	図書館利用者						
内容	<p>【新尾久図書館のコンセプト】</p> <p>①宮前公園内につくる地域の区民が日常的に利用できる身近な図書館 飲食コーナー、バリアフリー、安全性確保</p> <p>②地域における生涯学習活動の拠点 地域に関する資料、荒川区や地域にゆかりのある文学作品・文化芸術</p> <p>③地域内の小・中学校、幼稚園、保育園、ひろば館、ふれあい館、高齢者施設等との連携、交流の拠点 子どもから高齢者まであらゆる区民の方が読書に親しめる機会の提供、ネットワークの充実</p> <p>④地域交流や情報収集・発信の拠点 区役所各部署と連携した取組の提供、図書館ボランティアをはじめとする地域活動拠点</p>						
経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度 基本設計 測量、地盤調査</li> <li>・平成29年度 実施設計</li> <li>・平成30年度 実施設計・建設工事着手</li> <li>・令和元年度 建設工事</li> <li>・令和2年度 建設工事、外構工事、開館</li> </ul>						
必要性	地域の活動・情報発信・交流の拠点として、地域に根差した図書館サービスの更なる充実のため必要な事業である。						
実施方法	（3委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 引き続き、建設工事を進める。						
指   標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み	
	①						
	②						
③							
事務事業の分類			分類についての説明・意見等				
2年度	3年度						
重点的に推進	休止・完了		新たな尾久図書館は、地域のシンボリックな建物になるよう宮前公園内に令和2年度中の開館を目指し整備を進めている事業であるため完了とする。				

予算・決算額等の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
予算額		-	40,250	15,956	577,301	235,020	813,201	
決算額(2年度は見込み)		-	37,624	15,826	556,929	233,852	813,201	
実績の推移	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
	入館者数(人) 尾久	154,787	157,499	166,483	141,480	135,161	124,245	86,000
	総個人貸出点数(点) 尾久	266,202	273,046	256,878	234,213	221,258	199,534	105,769

予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	アドバイザー謝礼	156	報償費	アドバイザー謝礼等	39	報償費	イベント講師謝礼等	403
旅費	工場検査旅費	0	旅費	工場検査旅費	75	旅費	工場検査旅費	180
需用費	消耗品等	15	需用費	図書購入費等	15,245	需用費	図書購入費等	11,016
委託料	実施設計等	47,358	委託料	図書装備委託	2,941	役務費	電話移設費等	604
工事請負費	建設工事等	509,400	工事請負費	建設工事	215,552	委託料	図書装備委託等	64,856
						工事請負費	建設・外構工事	672,261
						備品購入費	図書館用備品一式	63,853

行政コスト計算書	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
	給与関係費	5,612	11,523	5,911	地方税	0	0	0
	物件費	15	18,261	18,246	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	156	39	▲117	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	282	6,467	6,185	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲6,065	▲56,442	▲50,377
	その他行政費用	0	20,152	20,152	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	6,065	56,442	50,377	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲6,065	▲56,442	▲50,377
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲6,065	▲56,442	▲50,377

備考 物件費は図書購入に係る需用費、図書装備に係る委託料が増えている。補助費は新尾久図書館整備アドバイザーへのヒアリングに係る謝礼である。その他行政費用は建設工事に係る工事請負費が増えている。

問題点・課題  
 ・乳幼児を連れての方や障がいのある方、赤ちゃんから高齢者までが、快適に安心して利用できる図書館の開館に向けて、適切な什器類の選定など各種環境整備を進める必要がある。  
 ・公園内立地を最大限活かした事業を進めるため、関係各課、関係団体等との検討を進めていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	具体的機能 ・建設工事を進めるとともに、区民等へ丁寧に説明を行う。	具体的機能 ・建設工事に関する住民説明会を実施し、丁寧に説明を行った。	具体的機能 ・館内サインや掲示物等を含め、来館者にとってわかりやすい図書館づくりを進める。
②	事業展開 ・公園内立地を活かしたイベント等の企画のほか、開館に向けた機運の醸成や周知を図る。	事業展開 ・機運醸成のため区立図書館ロゴマーク作成に着手し区立全小・中学生による投票を行った。	事業展開 ・開館の周知を強化し、地域の活性化につながるような事業を検討する。
③	運営体制やサービス ・開館日を決定し、建物竣工から開館準備までの具体的な計画を策定する。	運営体制やサービス ・開館時期の目途を立て、建物竣工から開館準備までの具体的な計画を策定した。	運営体制やサービス ・開館に向けて、図書館利用の具体的なルール等を定め、各種マニュアル等の整備を行う。

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
-------	--------------------------

議会(要旨) 平成29年度4月 文教子育て支援委員会 宮前公園内新尾久図書館の基本設計について  
 令和元年度予特 新たな尾久図書館の蔵書数や座席数、自習室の運用方法について